



みのり

発行所 金光教寝屋川教会

〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11

TEL 072-829-5129

メール koichiyasui@yahoo.co.jp

「困った人」それとも「困っている人」



6月を迎え、教会の前庭では、椿がツツジ、バラへと変わり、さらにあじさいが花の蕾をふくらませ、裏庭では、イチジクやびわの実が日に日に大きくなってきて、絶え間ない時の流れを感じさせてくれます。

時の移ろいの中で、子どもたちは一日一日成長を続け、大人たちは仕事を通して家族や社会へ貢献をなし、高齢者は命の限りを感じつつ、今を大切に生きたし、との思いを深めていることでしょう。

おかげさまで私もすべてにお世話になりながら、喜寿を迎えさせて頂いております。最近、車の免許証更新の通知が来て、高齢者講習を受講した上で、合格すれば更新できるとのこと。多発する高齢者の交通事故のことを考えると樂觀はできませんし、いよいよ終活かと案ずることしきりです。そんな私へ、教祖様は次のように励ましてくださいます。

元気を出して信心せよ

年をとったのを苦に病むことはない

年をとっても一人前にできるのは

信心だけである

信心していると、年を重ねるほど

身に徳がついて、神がかわいがってくださり

若い者が大事にしてくれるようになる

今ある命に感謝し、元気を出して信心させて頂き、人の助かりを祈り、「恩を知り、恩に報いる」御用に立たせて頂きたく願うものです。

先日、地域の福祉委員研修会に出て、多々教えられることがありました。その研修会は、小中学校の福祉教育向上を願ってのことで、福祉委員はその際、どのような協力ができるのかということを知り、周知するための集いでした。例えば、児童、生徒がアイマスクをしたり、車椅子に乗ったりして、身の不自由さを実際に体験し、どうすればそういう人の手助けができるのかを学ぶ福祉授業に、ボランティアとして参加するのも福祉委員の役割の一つです。

長寿の人が増えることは喜ばしいことです。中には身体が不自由であったり、精神的な弱者、認知症の人なども多くなってきます。私もまたその渦中に近づいてきている一人ですが、それは「困った人」なのか、「困っている人」なのか、どのような見方をし、見方をされることが良いのか、その見方がとても大切だということをお教えされました。

「困った人」と排除するのでなく、「困っている人」との思いで心を寄せ合い、手を差し伸べ、できるところでお手伝いをする、それが福祉の心だと教えられたことでした。

お世話をする人も、お世話になる人も、お互い様との心で、笑顔でお世話をし、笑顔でお世話になる、そんな笑顔で日々が過ごせるように、神様に祈りつつ、「年を重ねるほど身に徳がついて、神がかわいがってくださり、若い者が大事にしてくれるようになる」、そういうおかげを蒙らせて頂きたくお願いいたします。(教会長)

令和8年 教会の願い

金光様、日々有難うございます

御教えをもとに

辛抱強く信心の稽古に努め

身代、人間、達者の上におかげを受け

ご神願成就のお役に立たせて下さい

鶴甲教会天地金乃神大祭時の宣教

日時：令和8年5月6日 午後1時30分より

講師：田中清美 先生



私は今年で 75 歳、後期高齢者となりました。また、結婚 50 年目を迎えます。そのお礼のつもりで、お話のおかげを蒙らせて頂きたいと思います。

ところで、皆様、今朝、自分の意志で目覚めましたか。私たちは命を生かす働きを頂いて何事もできているのではないのでしょうか。自分の体であっても、なかなか自分の自由になりません。海や川、陽の光や雨、そんな働きを誰がしてくださっているのでしょうか。

金光教祖は万物を生かすお働きを「天地金乃神」様と仰がれ、神様からの願いを受けられ、金光教の道が開かれました。今日のお祭りは、その天地金乃神様のお働きを讃え、お礼を申し上げる祭典でした。

キリスト教やイスラム教では、天地創造の神様を唯一神として讃えておられますが、自分の信ずる神様以外の神様は認めていません。日本では古来より八百万神として、多くの神を崇めてきました。金光教祖は、「わが信ずる神ばかり尊びて、他の神を侮ることなかれ」と御教えされています。人間を含め、あらゆる生き物も、天地のお働きを受けて生かされて生きています。

ところが今の時代はどうでしょう。世界のあちこちで戦争が続き、自然破壊が進み、破滅に向かっていると思わずにいられません。そんな中で、私たちにできることは何でしょう。

金光教祖は「人一人助ければ、一人の神。十人助ければ、十人の神」と説かれ、「可愛いと思う心がそのまま神じゃ」とも教えておられます。人を助けると言っても、助けられた人が、有難く思わなければ、助けたことになりません。あ

まり大げさでなくても、あなたの一言で助かったとなれば人は助かり、そこに神が生まれます。

私事です、2 年前に右膝を痛めました。杖を支えにして歩かねばならないほどでした。ある日、私の知人が、そんな私を見て、医師を紹介してくれました。レントゲン検査をしたり、MRI 検査を受けたりし、突発性膝関節症と診断され、治療を受けるようになりました。医師からは、もっと早く受診されたら良かったのと言われ、治るとも治らぬとも言われませんでした。3 カ月ぐらい通院して、少しは良くなってきました。その後、また違う人から、膝の病氣専門の先生を教えてください、その先生の本を買って読み、リハビリの体操を続けるうちに、ずいぶん良くなってきました。この二人の親切を受けて、私はここまで良くなってきたことに感謝し、喜ばせて頂いています。私はこの二人の方の神心に救われたんだと思っています。

このように、ちょっとした優しさや親切心が人助けになることがよくあるものです。困った人を見て、見ぬふりをするよりも、少しでも困った人を助けたいという心で接することができたと思います。教祖様は「人の難儀を助けるのが信心と心得て信心をせよ」とも御教えされています。まずは人の難儀を祈るだけでも良いと思います。そして、身近なところ、まずは家庭の中から、祈り合い、助け合って、少しずつ周囲に広げていくことが大切だと思います。何もしないより、ほんの些細なことからも、勇気を出して、助け合っていけば、それが世界の平和につながるのだと思います。

天地の親神様は無条件で私どもをお生かしくださっています。お世話になりっぱなしで、亡くなっていくということで、良いのでしょうか。せめて亡くなる前にはお礼を言って逝きたいものです。いつ亡くなるか分からない私たちは、毎朝、無事に目覚めさせて頂いたことにお礼を言い、為すべきことを願い、夜になって眠る前にはその日のお礼を言い、安眠を願い、一日一日を大切に過ごさせて頂きたいものです。

天地の親神様に生かされてきた私は、果たして何のために生まれてきたのか、まだ答えは見つかっていません。是非、分かせて頂きたいと願っています。

金光教大阪府第五教会連合会

『第12回 信心共励会』開催のご案内

第五連合会では平成24年より「信行フォーラム」を開催し、平成29年からは「信心共励会」と名称を改め、参加者がそれぞれの信心について語り合い、練り合い、励まし合う中で、信心のさらなる充実を図り、より一層お役に立たせていただくことを願って取り組んでまいりました。

今年度は、教話を映像・音声にて拝聴した後、班別懇談を行い、参加者相互の信心研讃を深める機会といたしたく存じます。

つきましては、下記のとおり開催いたしますので、信徒の皆様方にはご参加方、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

○日時：7月4日(土)

13時30分(13時受付開始)～15時30分

○会場：玉水記念館(3F中ホール)

○内容：開会行事(ご祈念、連合会長挨拶、諸連絡)
教話拝聴(映像・音声にて)

一休憩一

班別懇談

(※「全体懇談」及び「発表」はありません)

閉会行事(信徒委員長挨拶、ご祈念、)

○持参品：筆記具

※6月25日までにお申込みを、お願いします。



生きることにすばらしい

人間が食べ飲みする時に

このくらいでよろしいと思う時が

天地の親神のご分霊が

分限を定められる時である

(理解1 山本定次郎の伝え)

教祖様は、「夫婦げんかをして、後から心が折り合う時、よく考えてみるとわけがわかる。この事柄を自分でわかるということは、天地の神様よりお与えくださった御霊が、体の司だからである」とも、教えておられます。人間は、神様の分霊(わけみたま)を授かって生まれてきています。その分霊が十分にはたらいてくたされれば、本当の分別ができるようになります。毎日の生活を振り返ってみますと、食事の時に、程よいところで気が付くのも、その現われの一つです。

その、程よいところを無視していると、今度は、程よいところが分からなくなり、神様が教え知らせようとされていることに気付かなくなります。素直に受け止めていく機会を、逃せば逃すだけ、自分の我が膨れ上がります。神様のお知らせである、分霊のはたらきが衰えてきます。ふと思う心や、素直な心の状態で浮かんでくることが、大切にしていきたいものです。

「おかげは和賀心にある」の「和賀心」、すなわち「和らぎ喜ぶ心」の状態の時が、一番、分霊がはたらいて頂ける心の状態です。「和賀心」を身につける努力を重ねながら、有意義な人生を送りたいものです。

(天王寺教会発行『生きることにすばらしい』第2集より抜粋)

6月



日	曜	教会行事予定	教会長、その他	日	曜	教会行事予定	教会長、その他
1	月	月頭祈願祭・14時		16	火		
2	火			17	水		佐野教会布教部宣教 14時
3	水		福祉授業打合せ (14時、西小学校)	18	木		
4	木			19	金		
5	金		布教部会 (13時半、大阪センター)	20	土		加藤ヨシ子姫年祭 10時30分
6	土			21	日	月例霊神祭・14時 布教部宣教	
7	日		町内大掃除・8時	22	月		
8	月			23	火		
9	火			24	水		みのり編集会議 10時40分
10	水		福祉委員実務研修会 (14時、市民会館)	25	木		
11	木		第五企画委員・教師会 (14時、枚方教会)	26	金		ボランティア部会 10時
12	金			27	土		
13	土	月例金光大神祭 14時		28	日		
14	日	教団独立記念祭 8時教会出発		29	月		布教部講師会 13時30分
15	月			30	火	夏越の感謝祭 14時	

6月のご霊神様

北野カズエ乃霊 (昭和56年6月6日帰幽)
 前島フサ刀自乃霊 (昭和20年6月7日帰幽)
 池端春枝乃霊 (昭和27年6月20日帰幽)
 門田寿ず姫乃霊 (昭和56年6月25日帰幽)
 安井宗男大人乃霊 (昭和41年6月28日帰幽)

大西清太郎翁乃霊 (平成7年6月5日帰幽)
 前島嘉次郎彦乃霊 (昭和20年6月7日帰幽)
 吉岡房子姫乃霊 (平成21年6月10日帰幽)
 今コユウ刀自乃霊 (昭和3年6月22日帰幽)
 加藤ヨシ子姫乃霊 (令和6年6月25日帰幽)
 高田徳子比女乃霊 (昭和53年6月28日帰幽)

6月のお誕生

呉彩友莉様、柴田慧斗様、池端 望様、金山正義様、照本将大様、
 北見 遼様、安井和奏様、富山明日香様、上田あゆみ様、田島佐世様

みなさん、おめでとうございます

